

ブドウの脱粒防止包装

技術の特徴

- ・衝撃によるブドウの脱粒発生を大幅に抑制できる。
- ・果房の大きさおよび形状の違いに柔軟に対応できる。
- ・フルーツキャップの使用を省略できる。

研究の内容

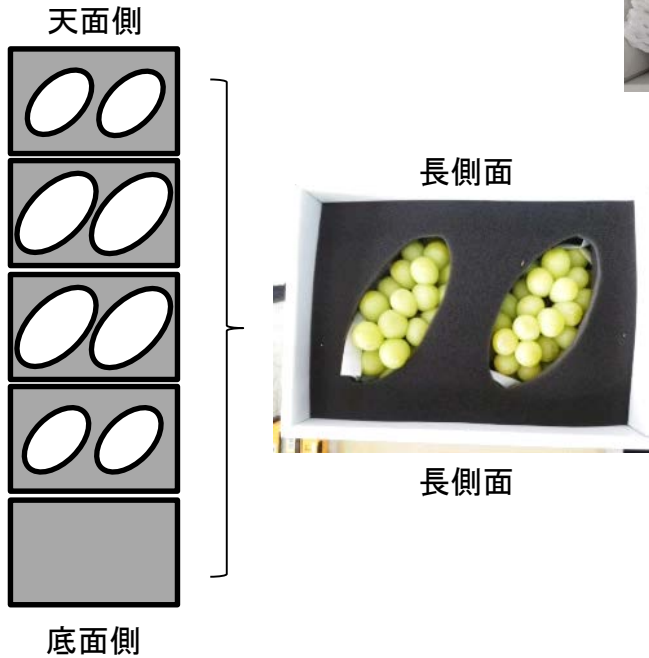


図1. 通常包装および脱粒の例(○内)

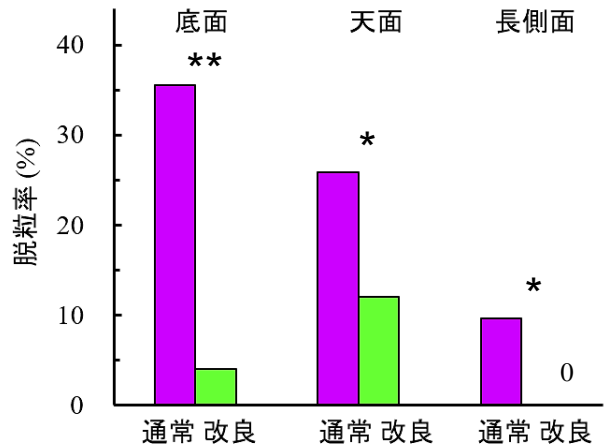


図3. 改良包装による脱粒防止効果

60 cmの高さから鉄板上に1回落下

底面、天面および長側面は衝撃印加部位を示す。

図2. ブドウの脱粒を防止する改良包装

果房の大きさおよび形状に応じて異なる貫通穴径を有する緩衝材の組み合わせを変更する。

今後の展開

- ・さらなる実証データの集積を行う。
- ・費用対効果の検証を行う。

参 考 北澤裕明、梱包用緩衝材、意願2016-005278

謝 辞 本研究は、農林水産省食料生産地域再生のための先端技術展開事業「被災地の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究」により実施した。



農研機構
食品研究部門

代表研究者： 北澤裕明
所 属： 食品加工流通研究領域
食品流通システムユニット（包装技術担当）

問い合わせ先：